

医療センター ニュース

三重県立総合医療センター

〒510-8561
四日市市大字日永5450-132
TEL(059)345-2321(代表)
E-mail:sogohos@pref.mie.jp

編集
三重県立総合医療センター広報紙編集委員会



三重県立総合医療センター



もくじ

新しい病院づくりに向けて.....	2	食事で元気になる 33 ～春の食材を味わおう～.....	6
小児外科外来の開設.....	3	外来診療医師担当表.....	7
中央放射線部の紹介.....	4	交通のご案内.....	8
医師・看護師研修修了式が行われました.....	5		
壺中の天地(苔入りました).....	5		

新しい病院づくりに向けて

県立総合医療センター

運営調整部長 三輪 仁巳



三輪運営調整部長

この度の東北地方太平洋沖地震で被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

当院からは、地震直後の3月11日にDMAT（災害医療チーム）を福島県に、また、3月23日と5月2日から1週間、岩手県へ医療支援チームを派遣させていただきますが、これからも被災された皆様が希望を持っていただけるようできる限りの支援をしております。

当院は、平成24年4月に「特定地方独立行政法人三重県立総合医療センター」として生まれかわるようになりました。これは、県立県営から県立で法人運営へと、運営主体がより効率的かつ効果的に業務が行えるよう地方独立行政法人に代わることで、病院そのものは変わりません。これからも、地域の皆様にとって信頼され、また三重県の安全安心を守る一翼として貢献していきたいと思っております。

平成6年10月の移転開院以来、今年で17年を迎えることになり、施設的な不具合とともにその後の医療の進展やニーズの変化により、施設的な改修整備が必要となってきました。

平成23年度から、そうした課題を解決するため次のような各種整備に取り組めます。皆様にはご不便やご迷惑、また一部診療制限をお願いしなければなりません。大変申し訳ございませんが、より良い医療を提供し、新しい病院として今後も与えられた役割を果たしていくためであり、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

一つ目は、地域周産期母子医療センターの拡充整備です。センターは出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で専門的な医療に対応できる施設ですが、現在、新生児集中治療室が3床と限られているため、9床に増床できるよう拡充整備するものです。

次に、内視鏡室の拡張整備です。内視鏡検査は必要な時に直ぐに検査できる体制が必要ですが、現在、内視鏡検査ができる検査室が少ないため、予約待ち時間が長くなっています。これらの課題を解消するため、検査室の増室とともに設備の充実を図ります。

いずれも今年度に着工できるよう準備を進めており、平成24年中に一部オープンさせながら、平成25年春完工の予定です。

また、カルテや検体、薬品等の搬送のためリニア搬送設備を設けていますが、故障のため診療に遅れがでるなどご迷惑をおかけしているため、これをエアシューターに変更し、安定した搬送システムを構築します。また、自動火災報知設備を更新し、防災管理体制を強化することとしています。

新しい年度を迎え、地方独立行政法人への移行まで残り1年となりましたが、病院機能の充実と与えられた役割の的確な発揮のため、職員が一丸となって新しい病院づくりに取り組んでまいりたいと思っております。

最後に、被災地の一日も早い復旧と被災された方々が健康でお過ごしいただけるよう心からお祈りしています。

小児外科外来の開設

外 科

非常勤医師 井上 幹大



井上医師

本年2月より、三重大学からの派遣で毎月第1火曜日の午後に小児外科の外来を始めさせていただくこととなりました。

小児外科は主に外科的治療が必要なお子さん（新生児から基本的には15歳以下）を対象としており、消化器疾患のみならず、呼吸器や生殖器など幅広く対応しています。対象となる疾患の中で頻度が高いものとして鼠径ヘルニア（脱腸）、臍ヘルニア（でべそ）、停留精巣、肥厚性幽門狭窄症、腸重積、急性虫垂炎などがあります（詳しい対象疾患は三重大学消化管・小児外科や日本小児外科学会のHPでご確認下さい）。また、便秘や繰り返す嘔吐の検査や内科的治療もさせていただいております。

子どもは大人のミニチュアではないと言われ、特に赤ちゃんの時に手術が必要なお子さんでは、長期間に渡るフォローアップを要することも多く、発達や精神面も含め、成長過程にあるお子さんをトータルでケアできる専門性が必要になります。

現時点では外来診療のみで、当院での手術は行っておりませんが、診察の結果、専門施設での外科的治療が必要な場合には三重大学や他の小児外科専門施設をご紹介します。

三重大学の小児外科では、体への負担が少なく、傷が小さい内視鏡手術や近年増加傾向にある潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患の治療にも力を入れております。内視鏡手術に関しては、新生児期より、胸腔鏡下手術、腹腔鏡下手術ともに対応可能であり、最近ではお臍の傷だけで腹腔鏡下手術を行う単孔式手術も導入しております。また、炎症性腸疾患に関しては、県外からご相談いただく患者様も多く、なかには乳幼児期に発症したお子さんもおみえになります。

些細なことでも結構ですので、気になることがあれば気軽にご相談下さい。

**平成24年度採用
看護師・助産師就職説明会**

5月14日(土)
6月11日(土)
7月26日(火)



中央放射線部の紹介

中央放射線部
技師長 加藤 進

認定資格・専門技師

臨床実習指導教員	3
放射線管理士	1
放射線機器管理士	2
医用画像情報管理士	2
超音波検査士（体表臓器領域）	1
超音波検査士（泌尿器領域）	1
超音波検査士（循環器領域）	1
超音波検査士（血管領域）	2
超音波検査士（消化器領域）	1
脳神経超音波検査士	1
胃がん検診専門技師	1
放射線治療専門技師	1
マンモグラフィー技術認定技師	5
マンモグラフィー施設認定	

中央放射線部は診療放射線技師20名と受付事務2名で構成されています。画像情報を提供する検査部門と放射線治療を行っています。勤務は2交代制で休日・夜間は勤務1名・待機1名で24時間緊急検査に対応しています。



X線撮影

胸部・腹部の写真や骨折等の骨の写真を主に検査します。乳房の撮影（マンモグラフィー）は技術認定を取得した女性技師が担当しています。

X線透視

消化器（胃・腸等）のバリウム検査やX線透視下での検査・処置に使用します。

CT

マルチスライスCTが2台あり1台は320列CTで平成22年10月に導入しました。この装置は従来のCT検査に加え、新たに冠動脈CT検査を実施しております。従来では、冠動脈を調べるために心臓カテーテル検査と呼ばれる検査を行う必要がありましたが、現在ではCT装置の進歩に伴い冠動脈の検査をCTでも出来るようになりました。

MRI

MRI検査は、X線撮影検査・CTなどとは違い、放射線は利用しません。強い磁石と電波を用いて体内の疾患状態を検査します。

血管撮影

血管内にカテーテルを挿入し造影検査や治療をおこないます。装置は心臓専用・頭腹部用の2台あり心筋梗塞や脳卒中等の緊急検査に24時間対応しています。

超音波（エコー）

超音波を用いた非侵襲的な検査です。心臓・甲状腺・腹部・腹部血管・下肢動静脈・頸動脈頭蓋内血管などの検査をしております。

ガンマカメラ

放射性医薬品を注射または経口後、体外から体の中の薬の分布を装置で画像や検査値としてとれます。これらの画像や検査値から病気の有無や病態の把握のための診断が行えます。ほとんどの検査は、検査中ベッドに寝ているだけで、比較的短時間で終わります。

放射線治療

当院ではCT検査の情報をもとに、コンピュータを使って、放射線をあてる範囲や方向を正確に計算します。そして、できるだけ病巣に限局して照射し、周囲の正常な組織には余分な放射線がかからないように最適な放射線治療の計画を作成します。

また部外活動として、バレーボール（週1回の練習）・スキーツアーも放射線部が中心となり親睦交流を積極的におこなっています。

〔追記〕

我がスタッフもDMATの一員として東北地方太平洋沖地震の救援活動に参加しました。



医師・看護師研修修了式が行われました。

3月17日に市内のホテルにて、平成21年度初期研修医師8名及び平成22年度新規採用看護師26名を対象に、研修修了式が開催されました。

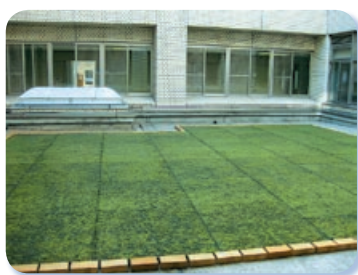
研修医は2年、看護師は1年の研修期間を修了しました。まだまだ未熟なところはありますが、患者さんの為にこれまで以上にがんばっていただける事と思います。



また、上記の研修生を支えた指導医・看護指導者も一年間の苦労を称えて表彰されました。

なお、今年度は研修医9名・看護師46名と多くの新しい仲間を迎えることができました。（表紙写真）今後もよろしくお願いします。

壺中の天地（苔入りました。）



当院4階東病棟の光庭を屋上緑化しました。

廊下からガラス越しに眺めると、一見、芝生のようにも見えますが、これはスナゴケという苔（こけ）です。スナゴケは日本在来種で日本全土に分布しているので、生態系に悪影響を及ぼす心配がありません。

苔は根からではなく大気中から水分・養分を吸収して生育する植物なので、重量がある土を必要としません。苔自体の成長速度も緩やかなので、自重の増加を抑制し、超軽量に緑化が可能であり、灌水・施肥・刈り込み・雑草処理等の維持管理が必要ありません。また、苔緑化により殺風景なコンクリートから、自然界と同様に季節変化のある目に優しい景観を創造してくれるとともに、さらに、断熱・保温効果も発揮してくれます。

光庭は周囲をガラスや壁面に囲まれた、容器の底のような場所にあります。中国の故事から「壺中の天地（こちゅうのてんち）」という言葉があります。別天地とか別世界という意味です。少し大げさですが、この苔が、直射日光の届かない、通風もほとんどないという植物の生育には厳しい環境に耐えて生育し、別天地を造ってくれることを期待しています。

※壺中の天地

《後漢の費長房が、市中に薬を売る老人が売り終わると壺の中に入るのを見て一緒に入れてもらったところ、りっぱな建物があり、美酒・佳肴（かこう）が並んでいたのも、ともに飲んで出てきたという、「後漢書」方術伝の故事から》俗世間を離れた別世界。また、酒を飲んで俗世間を忘れる楽しみ。仙境。壺中の天。

食事で元気になる33

～春の食材を味わおう～

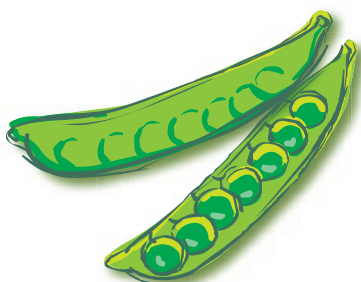
栄養グループ

春の食材には、春キャベツ・新じゃがいも・さやいんげん・グリーンピース・たけのこ・菜の花・アスパラガスなどがあげられます。今回は、その中から『グリーンピース』についてご紹介します。

《グリーンピース》

マメ科の植物で、生は4～6月頃が旬です。グリーンピース以外のエンドウの仲間には、さやごと食べるキヌサヤ、サヤも豆も食べられるスナックエンドウなどがあります。

もともとはエンドウの若いサヤの状態がキヌサヤで、その後中身が大きくなったものがグリーンピースでした。現在では、それぞれの状態に適した品種が栽培されるようになっています。



グリーンピースはエンドウの未熟な豆なので、さらに成長すると「えんどう豆」と呼ばれる、完熟したエンドウになります。

【選び方】

できるだけサヤ付きを購入し、調理の直前に実を取り出して使うのがオススメです。サヤがみずみずしく、しなびていないものを選びましょう。

「むき実」で売られているグリーンピースを購入する場合は、粒がふっくらしていて、大きさがそろっているもの、緑色が濃くてつやのあるものを選びましょう。

【栄養】

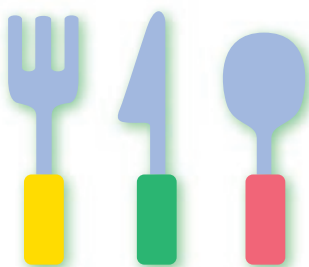
βカロテン、ビタミンB群、ビタミンC、食物繊維やカリウムが豊富に含まれています。

βカロテンは細胞の老化予防、ビタミンCは美肌・美白効果が期待され、βカロテンとの相乗効果で免疫力アップも期待できます。

糖質代謝に欠かせないビタミンB1、コレステロール排出や腸の働きをよくする食物繊維と体にうれしいビタミンがいっぱいです。

【オススメの食べ方】

料理の彩りとして、煮物やいためのものに入れたり、バターいためや、グリーンピースご飯、サラダ、スープにもあいます。



＜当院自慢の一品＞

桜ポテト

グリーンピースと同様に春の食材である新じゃがいもを使用しています。タラコを使って桜色に春らしく仕上げました。



エネルギー	56.7kcal	食物繊維	1.21g
たんぱく質	2.34g	塩分	0.48g
脂質	0.26g		

作り方

- ①新じゃがいもは、皮をむき乱切りにして、水にさらしたあとザルにあげる。
- ②タラコは焼いて、ほくしておく。
- ③グリーンピースのむき実は、色よく茹でておく。
- ④①の新じゃがいもを茹でて、塩をふり、粉ふき芋にする。

材料（一人分）

新じゃがいも	60g
塩	少々
タラコ	4g
グリーンピース （むき実）	5g

- ⑤④にほくしておいた、タラコをまぶす。

- ⑥器に盛り、グリーンピースを散らす。

※タラコの塩分があるので、粉ふき芋にする際に塩は控えめにしましょう。

●栄養グループでは、予約制で月曜～金曜日まで外来栄養相談を行っています。

外来診療医師担当表

★都合により変更することがありますので、最新の担当表をホームページかお電話でご確認下さい。

平成23年4月1日(金) 現在

		月		火		水		木		金	
消化器科	再診	2診	井上	2診	高瀬	2診	担当医	2診	田中	2診	大矢
	初診	3診	大矢	3診	井上	3診	爲田	3診	高瀬	3診	笠井
	再診			5診	森谷	5診	伊藤				
呼吸器科	再診							5診	前田	5診	都丸
	初診	5診	前田								
	初診	6診	吉田	6診	油田	6診	都丸	6診	中原	6診	高橋
	再診	7診	中原			7診	高橋	7診	吉田	7診	油田
循環器科	初診	8診	牧野/竹内	8診	竹内	8診	牧野	8診	市川	8診	森木
	再診	9診	市川	9診	宮木	9診	森木	9診	牧野	9診	竹内
※月曜日循環器科(8診)は牧野が第1・3・5週目、竹内が第2・4週目診察											
外科	1診	登内	1診	担当医	1診	池田	1診	登内	1診	横江	
	14:00~16:00 予約診	緩和外来					午後予約診	緩和外来			
	2診	伊藤	2診	第1火曜日の 午後のみ 小児外科外来	2診	尾嶋	2診	横江	2診	渡部	
	3診	池田	3診	小西	3診	渡部	3診	小西			
14:00~ 予約診	小西 乳腺外来			14:00~ 予約診	渡部 乳腺外来						
心臓血管外科/呼吸器外科			1診	鈴木	1診	近藤			1診	井上	
脳神経外科	1診	岡田	1診	岡田	1診	岡田	1診	岡田	1診	岡田	
	2診	亀井	2診	藤本					2診	亀井	
									午後 予約制	脊椎 脊髄外来	
神経内科	初診 午前のみ	鈴木	予約診	鈴木	9:00~ 12:00 予約制	ものわすれ 外来	予約診	鈴木	予約診	古田	
			初診	古田			初診	古田	初診	鈴木	
小児科	1診	杉山	1診	西森	予約	太田	1診	太田	1診	杉山	
	2診	山城	2診	森山	予約	杉山	2診	足立	2診	小川	
	紹介/予約	小川	紹介/予約	太田	時間外予約	足立/小川	紹介/予約	杉山	紹介/予約	西森	
産婦人科	1診	谷口	1診	田中	1診	吉田	1診	朝倉	1診	鳥谷部	
	2診	吉田	2診	担当医	2診	谷口	2診	担当医	2診	朝倉	
	3診	午後 担当医	3診	朝倉	3診	田中			3診	谷口	
				たんぼぼ							
整形外科	紹介診	北尾	膝関節外来 再診予約のみ (午前)	北尾			紹介診	森本	紹介診	松本	
	2診	岡村		森本			2診	岡村 午後予約診			
	3診	担当医	3診	中川 午後予約診			3診	中川			
皮膚科	1診	尾本	1診	加古	1診	加古	1診	加古	1診	加古	
			午後	褥瘡回診	午後	手術					
泌尿器科	1診	金井			1診	松浦	1診	栃木	1診	松浦	
	予約診	松浦			予約診	金井	予約診	金井	予約診	金井	
耳鼻いんこう科	1診	有馬			1診	有馬	1診	有馬	1診	有馬	
精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	
放射線科	予約診	豊田					予約診	豊田			

交通のご案内

三重交通バス

近鉄四日市駅より
約25分

近鉄塩浜駅より
約20分

近鉄内部線

泊駅より 徒歩15分



総合医療センター

バス時刻表

医療センター発

平日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
近鉄四日市	泊 山		0	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	30
磯 津	塩浜駅前				6	6	6	6	6	6	6	6	6	17	
塩浜駅前			56												
高花平					3	55		55		55		55			

土・日・祝日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
近鉄四日市	泊 山			35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	30
磯 津	塩浜駅前				6	6	6	6	6	6	6	6	6		
高花平					3	55		55		55		55			

塩浜駅前発

平日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
医療センター				0	42		42				42		42		
高花平	医療センター			50		42		42		42		42			

土・日・祝日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
医療センター					42		42				42				
高花平	医療センター			50		42		42		42		42			

近鉄四日市発

平日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
医療センター・泊山	白髭神社			15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
医療センター			30												

土・日・祝日		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
行き先	経由														
医療センター・泊山	白髭神社			15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

●基本理念●

- 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

●基本方針●

- 患者の皆様のご権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として医療水準の向上に努め、安全で質の高い医療を提供します。
- 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 公共性と経済性に配慮した健全な経営を行います。

外来診療及び面会のご案内

診療受付時間 午前8時30分～午前11時30分

休診日 土・日曜日祝祭日 及び
年末年始(12/29～1/3)

面会時間 午前6時～午後9時(通年)
状況によりお断りする場合があります。